

令和6年度 人権尊重教育推進事業計画

川崎市立桜本中学校

校長名 鈴木 廣和

担当 水野 里恵

1 今年度の人権尊重教育のねらい

○「多文化共生」の理念のもと、互いが暮らしやすい社会を目指すために、教職員・生徒ともに主体的な問題意識をもって取り組む。

○生徒の基本的な生活習慣。モラルや学力の向上をはかり、相手の立場にたって物事を考えて行動するとともに、善悪の判断や状況の理解ができる生徒の育成を目指す。

2 今年度の人権尊重教育推進にかかわる計画

内 容	実施時期、回数、学年等
① 人権尊重教育学習の実践 ・「人権尊重教育プログラム」に基づく授業の実施 ・人権講演会の実施 ・教育相談 ・職場体験（2年） ・「かわさき共生＊共育プログラム」にもとづく授業の実施 ・特別な支援を必要とする生徒に対する取り出し・入り込み授業 ・日本語を母語としない生徒に対する定期テスト等での配慮 ・いじめ防止標語コンクールの実施	各学年 年間4回 12月頃 各学年 年間3回 6月 各学年 年間6回 各学年 年間を通じて 随時 12月頃
② 職員研修 ・「人権尊重教育」に関する研修（職員への意識づけ） ・「人権教育プログラム」に基づく授業研究および教材の開発 ・在日外国人問題、特別支援教育、生徒指導 等についての研修 ・人権尊重教育公開授業	4月 6, 9, 2月 7, 8, 10月 11月
③ 地域とのかかわりを深める活動 ・「在日の想いに語る会」への参加 ・地域教育会議 ・地区懇談会 ・「日朝日韓友好同好会」における地域ボランティアの活用 ・学校教育推進会議 ・保護司・青少年指導員等との情報交換会	7月・1月予定 運営委員会は隔月実施 6月 9～10月 7月、3月 12月
④ その他	

3 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に関わる取組

○「人権尊重教育プログラム」の授業（全学年）

4 人権尊重教育推進にかかわる本校の課題

○「人権尊重教育プログラム」の授業実践による新たな教材・題材の開発とカリキュラムの見直し

- ・ニューカマーやルーツの多様化などの新たな課題への取組
- ・広い視野での「人権問題」への取組（福祉、個性の尊重、環境問題 等）
- ・既存の題材の解釈・活動のねらい・授業展開等の検討
- ・時代・社会のニーズに応えられるような指導内容の工夫

○基本的な生活習慣・マナー・モラル・正しい倫理観の育成

○基礎学力や集中力、聞き取る力、忍耐力および自尊感情と他者の気持ちを想像する力の育成

「地域と人権のかかわりを考える」 活動指導案

授業者 岡本 典子

- 1 日時 2024（令和6）年6月26（水） 5校時
- 2 対象 1年2組 22名
- 3 資料名 人権尊重教育（韓国・朝鮮に関わるプログラム）
「桜本地域と韓国・朝鮮」
- 4 本時の活動目標 ○韓国・朝鮮の文化をもつ「桜本地域」の特色を知り、さまざまな人が共に生きるために大切なことを考える。
- 5 本時の活動内容

生徒の活動	教師の指導・支援	活用する資料など
桜本中学校が人権教育をしっかりと行っているのはなぜだろう。		
- 教師の問いかけに答える。 - 説明を聞く。	- この地域で差別があったことを伝える。 - 差別について知っている生徒には発表させる。 - 写真を提示し、韓国・朝鮮にゆかりのあることがらや施設が多いことを確認させる。 - 鉄鋼・機械工業が多いことを踏まえ、経済的理由、政治的理由について簡単に説明する。 - どのような差別があったのか、知っているものを挙げさせる。あまり出なければ授業者が補う。	パワーポイント
差別を受けていた人々は、どのような気持ちだっただろうか。		
- 差別を受けていた方の思いを想像し、ワークシートに記入し、内容を発表する。 - 説明を聞く。	- ワークシートに書かせて発表させる。 「差別を許さない！」と立ち上がった人々を紹介する。 「桜本保育園」「青丘社」「ふれあい館」といった団体の活動が、韓国・朝鮮人の人権を守ろうとしていたことを確認する。そして、当時頑張った人たちのおかげで今の桜本地域があることを確認する。 - 韓国・朝鮮にかぎらず、たくさんの外国人が川崎に住んでいることを確認する。 - ふれあい館や川崎市HPでの取組を紹介する。	ワークシート パワーポイント
桜本地域の一員として、私たちにできることは何かを考えよう。		
新しく知ったことや驚いたことをワークシートに記入し、内容を発表する。	ワークシートに書かせて発表させる。	ワークシート
本時の内容をふまえて、桜本地域の一員として自分にできること、これからの人権学習への取り組み方をワークシートに記入し、内容を発表する。	- ワークシートに書かせて発表させる。 【予想される生徒の意見】 - いろいろな国のいろいろな文化をもった人々が、いっしょに仲良く暮らしていけるよう、困っている人がいたら助けたいし、優しく接したい。 - 人権学習に真剣に取り組んでいきたい。	ワークシート

- 6 評価 ○韓国・朝鮮の文化をもつ「桜本地域」の特色を知り、さまざまな人が共に生きるために大切なことを考えている。